

主 催 公益社団法人 ロングライフビル推進協会
 一般財団法人 日本建築設備・昇降機センター
 後 援 国土交通省

令和 8 年度「建築設備診断技術者」講習案内 (ビルディングドクター〈建築設備〉)

建築物の性能や資産価値を維持・向上させるためには、建築基準法第 8 条の建築物を常時適法な状態に維持するという要請にとどまらず、経年劣化、社会環境の変化、関係技術の進展等に対応した改修の実施等、運用の最適化を図るために適切に保全を行うことが欠かせません。

建築設備診断は、日常点検・法的な調査の結果に基づき実施する機能・性能に関する情報収集の節目のプロセスであり、修繕・更新・改修の計画の起点として、保全の要となるものです。

「建築設備診断技術者」は、このような目的に対応して、建築設備（昇降機を除く。）の物理的劣化、社会的劣化について総合的に診断し、建築設備の適正な保全に資する技術者です。

「建築設備診断技術者」の資格は、建築設備とその診断に関して体系的にカリキュラムが組まれた本講習を受講し、講習の修了が認められ、公益社団法人ロングライフビル推進協会及び一般財団法人 日本建築設備・昇降機センターに登録された者に与えられます。

※本講習は、「建築士会」、「建築 CPD 情報提供制度」、「JIA」、「建築設備士関係団体 CPD 協議会」、「建設業振興基金」の認定単位となります。(16 単位予定)

※建築設備診断技術者は、専攻建築士制度における「建築生産（診断・改修）専攻建築士」に認定する際の必要資格の一つとなっています。

講習料：57,200円（消費税（10%、5,200円）込、テキスト代含む）

会場・日程・募集定員・申込受付期間等

会場	内容		日程	開催場所	定員	申込受付期間
東京	受講方式	会場受講	7月21日（火）～ 7月23日（木）	ビジョンセンターグランデ東京浜松町 （東京都港区芝大門 1-13-9 UD芝大門ビル 2～12 階）	100名	5月1日（金）～ 7月7日（火）
		WEB受講	7月28日（火）～ 9月3日（木）			
	試験	9月4日（金）	ビジョンセンターグランデ東京浜松町 （東京都港区芝大門 1-13-9 UD芝大門ビル 2～12 階）	296名		
大阪	受講方式	会場受講	7月28日（火）～ 7月30日（木）	新大阪丸ビル別館 （大阪市東淀川区東中島 1-18-22）	112名	5月1日（金）～ 7月14日（火）
		WEB受講	8月4日（火）～ 9月3日（木）			
	試験	9月4日（金）	TKP新大阪カンファレンスセンター （大阪府大阪市淀川区宮原 4-3-39 新大阪NKビル 5 階）	240名		

※各会場とも募集定員（考査試験会場の定員）に達し次第、募集を終了します。

協 賛

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人 建築設備技術者協会 一般社団法人 建築設備総合協会 一般財団法人 建築保全センター 公益社団法人 空気調和・衛生工学会 公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会 一般社団法人 電気設備学会 一般社団法人 東京都設備設計事務所協会 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 一般社団法人 日本建設業連合会 | <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人 日本建築学会 一般財団法人 日本建築センター 一般財団法人 日本建築防災協会 一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会 一般社団法人 日本電設工業協会 一般社団法人 日本ビルチング協会連合会 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 一般社団法人 マンション計画修繕施工協会 |
|---|---|

I. 講習概要

〈1〉令和8年度の資格取得講習について：

令和8年度の当協会の資格取得講習では、ご自宅のパソコン等で講義を受講できる「WEB講習」を導入することといたしました。これにより、令和7年度までの資格取得講習における3日間におよぶ会場での講義受講が必須ではなくなり、業務の都合により平日3日間の講習に参加できなかった方や講習会場まで遠方で負担が大きかった方であっても、どなたでも好きな場所で3日分の講義を受講できるようになります。

また、考查試験については、講習日から約1か月後の別日で実施いたします。試験日までの約1か月間を学習期間としていただき、よりBELCA認定資格が取得しやすくなりました。なお、当講習における「WEB講習」とは、リアルタイムでの講義視聴ではなく、期間内であれば収録した講義動画を何時でも何処でも何度でも視聴できる「オンデマンドでの動画講習」を指します。

〈2〉「WEB受講」について：

	令和7年度までの講習	⇒	令和8年度の講習	
			①会場受講の場合	②WEB受講の場合
講習	平日の2日間半 会場で受講 (例：水曜日の午前 ～金曜日の午前)	⇒	平日の3日間 会場で受講 (例：火曜日の午前 ～木曜日の午後) + 復習として任意で 講義動画をWEBで視聴 (会場講習の約1週間後から 試験日の当日まで 復習のため視聴可能)	平日の3日間分の 講義動画をWEBで視聴 (試験日までの 約1か月間)
試験	講習3日目の午後 会場で受験 (例：金曜日の午後)	⇒	会場講習日から約1か月後に実施する試験日の午後 会場で受験 (②WEB受講の場合でも、WEBで受験できません)	

令和8年度の資格取得講習の受講形式につきましては、従来どおり3日間の講義を現地で受講いただく「①会場受講」と、オンデマンドで3日間分の講義動画を視聴いただく「②WEB受講」の二通りがあります。なお、申込時に受講形式を任意で選択できますが、会場受講の場合は座席に限りがあり、必ずしも希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

また、考查試験については、講習日から約1か月後に実施するものとし、「②WEB受講」を選択した場合でも、現地の試験会場にお越しいただく必要があります。

受講形式	メリット	デメリット
①会場受講	<ul style="list-style-type: none"> 平日の3日間、講習会場で緊張感を持って講義を受講することができる。 会場講習の約1週間後から会場受講者にも講義動画を配信するため、約1か月間、動画視聴して復習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通費や宿泊費の負担が大きい。 講習会場の座席によっては、スクリーンが見づらいなどの理由で集中して受講できない場合がある。 講習会場の座席数に限りがあるため、タイミングによっては申し込むことができない。
②WEB受講	<ul style="list-style-type: none"> 動画配信期間内であれば、何時でも何処でも何度でも講義動画を視聴することができる。 交通費や宿泊費を考查試験日だけに抑えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅や職場等で受講できるため、講義を集中して受講することが難しい。 期間内に全ての講義動画を視聴しなければ、考查試験の受験資格を得ることができない。

Ⅱ. 受講資格

〈1〉受講資格区分：

建築設備の診断実績（注1参照）が5件以上あり、かつ、下表の（1）～（5）のいずれかに該当する者。なお、受講資格区分（5）の場合は、専用の申込案内を用意しておりますので、BELCA事務局までお問い合わせください。

区分		受講資格
(1)	所有資格を前提とする者	次の資格のいずれか一つを所有している者 技術士（機械、電気・電子、衛生工学）、1級施工管理技士（電気工事又は管工事部門に限る）、1級建築士、電気主任技術者、1級計装士、建築設備検査員、建築設備検査資格者、建築設備士、建築物環境衛生管理技術者、建築・設備総合管理士、建築・設備総合管理技術者、空気調和・衛生工学会設備士
(2)	学歴を前提とする者	大学院、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校等（注2）の建築、建築設備、電気、電子、機械、衛生工学等の学科を卒業（大学院においては関係分野を専攻して修了）した者で、次のいずれかに該当する者。 ①建築設備の設計・施工（注3）・維持管理の実務経験年数及び診断実務の経験年数が合計で5年以上であること ②建築設備の診断実務の経験年数が5年以上であること
(3)	実務経験を前提とする者	次のいずれかに該当する者 ①建築設備の設計・施工・維持管理の実務経験年数及び診断実務の経験年数が合計で8年以上であること ②建築設備の診断実務の経験年数が8年以上であること
(4)	その他	認定委員会が上記(1), (2), (3)と同等以上と特に認めたる者
(5)	過去に建築設備診断技術者の資格を取得し、更新登録をせず失効となった者	

注1：「診断の実績」とは、3階以上又は延床面積が1,000㎡以上の建築物の電気設備、給排水衛生設備、空調・換気設備等の全部又は一部につき、診断計画の作成、調査・測定データの分析・評価又は改善提案についての実績をいう。

注2：「等」は、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、職業能力開発校、職業能力開発促進センター、障害者職業能力開発校又は専修学校（専門課程を置くものに限る）とする。

注3：「建築設備の施工実務」とは、建築設備工事の計画、実施、管理、検査の全部若しくは一部に係わる実務又は工事監理をいう。

〈2〉受講申込に必要な書類：

申込書等に記載された個人情報、本講習実施に関する必要書類等の作成・送付ならびに本講習受講に伴う連絡に使用します。個人情報は個人情報保護法に基づき適切に管理します。

受講申込に必要な書類		受講資格区分			
		(1)	(2)	(3)	(4)
a	顔写真（正面・無帽・無背景で、撮影後6ヵ月以内のもの）	○	○	○	○
b	振込確認書類（払込請求書兼受領書またはそれに代わる書類、コピー可） ※「Ⅳ. 受講料の振込み」をご確認ください。	○	○	○	○
c	診断実績報告書（様式No.3）	○	○	○	○
d	実務経験証明書（様式No.4）	—	○	○	○
e	資格証書の写し	○	—	—	○
f	卒業証明書	—	○	—	○
g	単位取得証明書	—	—	—	△
h	WEB受講誓約書	○	○	○	○

Ⅲ. 受講申込手続き

〈1〉 申込方法：

申込方法は、インターネットによる申込方法（WEB申込）のみです。
WEB申込では、「受講申込フォーム」を使用して申し込みを行います。

「受講申込フォーム」では、受講者、勤務先の情報、受講資格区分の情報などを入力後、受講申込に必要な書類の電子データをご自身で提出いただきます。

インターネットによる申込情報入力ならびに受講申込に必要な書類（電子データ）の提出（インターネットアップロード）で申込完了となりますが、データ確認・審査終了後、受講申込時に申請いただいたメールアドレスへの受講票の配信をもって受付完了となります。

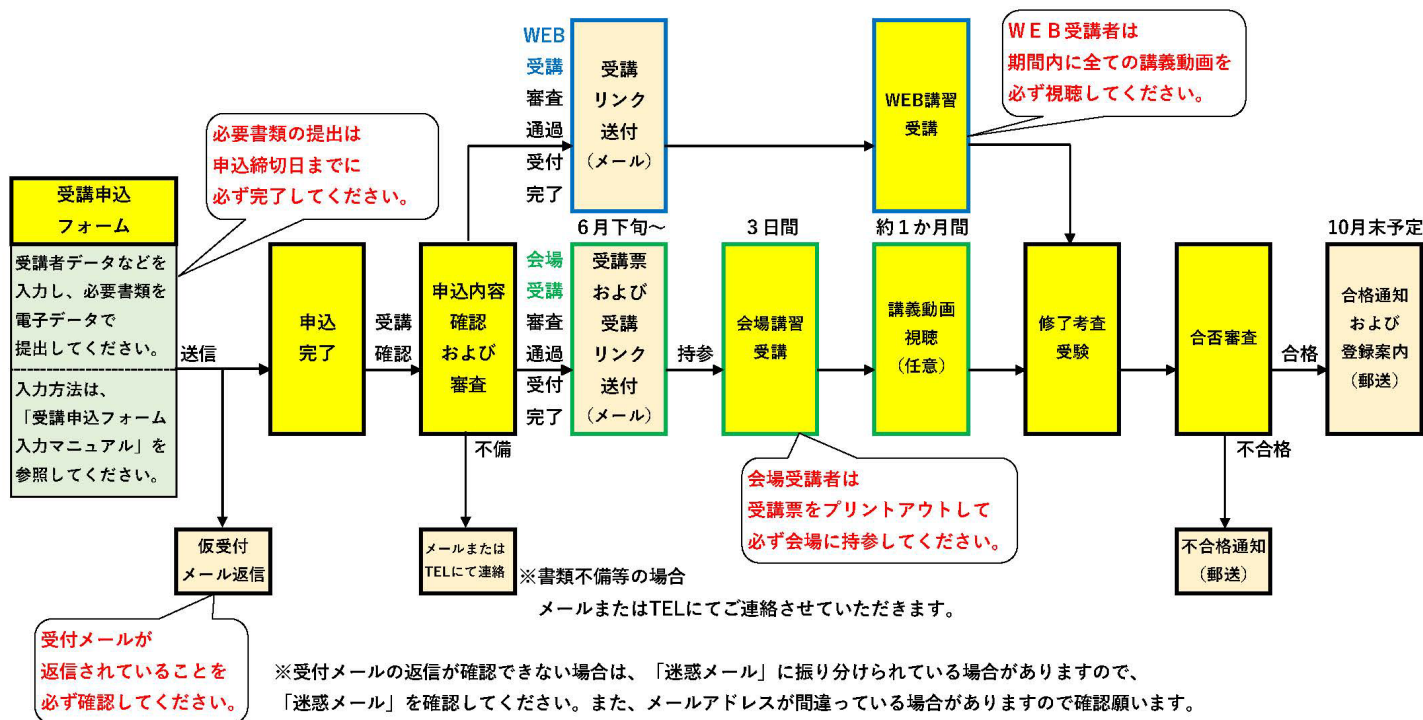
WEB申込については以下のBELCAホームページのURL
または右の二次元コードからお申し込みください。

URL：<https://www.belca.or.jp/ebd/>



〈2〉 WEB申込の流れ

受講申込フォームには「受講資格区分（1）～（4）用（通常申込み用）」と「受講資格区分（5）（6）用（失効者、前年度未修了者用）」の2種類あります。



〈3〉 申込に関する注意事項：

- 不正又は虚偽記載の禁止：
受講申込に関して、不正又は虚偽の記載が認められた場合は、受講資格を得ることができません。また、修了後の修了の取り消しや登録後の登録を抹消されることもあります。
- 提出書類の一括提出等：
提出書類は一括提出してください。また、提出書類に不備（記入漏れ、誤記等）があると受理することができません。
- 提出書類の不返還：
受講申込受理後は、理由の如何に関わらず提出書類は返還いたしません。

IV. 受講料の振込

〈1〉受講料：

57,200円（消費税 10%・5,900円込、テキスト代を含む）

〈2〉振込先（振り込み手数料はご負担ください）：

ゆうちょ銀行でのお振込の場合

口座記号番号：00150-0-700044、加入者名：公益社団法人 ロングライフビル推進協会

※ゆうちょ銀行以外の金融機関から上記の口座へ振込される場合

金融機関名：ゆうちょ銀行、預金種目：当座、店名：〇ー九（ゼロイチキュウ）店

口座番号：0700044、口座名義：公益社団法人 ロングライフビル推進協会

〈3〉振込に関する注意事項：

受講料は、次のアからエの場合を除いては、返還いたしません。アからエに該当し返還する場合は、所定の事務手続きが必要であり、ア以外については返還に係る事務手数料を受講申込者に負担していただきます。

- ア. 協会の責めに帰すべき事由により講習を受講できなかった場合
- イ. 天災等の理由により講習を受講できなかった場合
- ウ. 受講申込書または添付書類に不備があり補正の余地がない場合
- エ. 受講申込者が受講資格を有しないと認められる場合

V. 受講票・講義動画リンクの送付

受講審査が終了した受講申込者には、令和8年6月下旬から順次、申込時に記入いただいたメールアドレスに「受講票」および「講義動画リンク」を送付します。「①会場受講」を申し込まれた方は、講習当日に受講票を印刷してご持参ください。なお、講習テキストは、「①会場受講」の場合は講習初日に配布、「②WEB受講」の場合は動画配信日までに自宅等に郵送します。

VI. 講習の受講

「①会場受講」と「②WEB受講」のどちらの受講形式を選択しても、同じ内容の講義を受講いただけます。

講習内容		時間
建築設備診断技術者の役割等	建築設備診断技術者資格制度、建築の保全、建築関連法令、建築概論、建築設備概論、建築環境評価	3.0
建築設備診断業務指針	建築設備診断（総則、予備調査、診断計画、診断、診断契約の締結、診断報告）	2.5
建築設備診断技術	建築設備診断（電気設備の診断、空気調和・換気設備の診断、給排水衛生設備の診断）	8.0
特別診断	建築設備の省エネルギー診断、建築設備の耐震診断	3.0

※会場での講習時間は1日目 10:30～17:35、2日目 9:30～15:50、3日目 9:30～16:20を予定しますが、都合により変更となる場合があります。

〈1〉「会場受講」の場合：

講習会場で3日間受講いただくことにより、修了考査の受験資格を得ることができます。講習当日に30分以上の遅刻・早退をした場合は不受講となり、修了考査の受験資格を得ることができません。その場合、「WEB受講」への振り替えとなり、全ての講義動画を視聴いただくことにより、修了考査の受験資格を得ることができます。

また、「会場受講」を申し込まれた方にも会場講習後に講義動画を配信しますので、復習として視聴いただくことが可能です（試験の受験資格を得た方の講義動画の視聴は任意です）。

〈2〉「WEB受講」の場合：

講習会場で収録した動画を各自で視聴いただく「オンデマンド形式」となります。一定期間内に全ての講義動画を視聴いただくことにより、修了考査の受験資格を得ることができます。

Ⅶ. 考査試験の受験

全ての講義の受講された方は、考査試験の受験資格を得ることができます。なお、考査試験は、講習を WEB で受講した場合でも、WEB で受験することができません。必ず会場にお越しください。

考査試験は、修了考査Ⅰ（択一式問題・60分）、修了考査Ⅱ（記述式問題・90分）の2つを受験いただきます。

※考査試験は 13:30～17:00 を予定しますが、都合により変更となる場合があります。

Ⅷ. 修了結果の確認等

修了考査で講習の修了が認められた方については、令和8年10月末に BELCA のホームページに掲載（受講番号のみ）するとともに、受講者の現住所に直接通知します。なお、受講申込の時から現住所が変更となった場合は、必ず BELCA 事務局まで連絡してください。

全ての講義を受講したものの講習の修了が認められなかった方にも、その旨の通知を行います。なお、今年度の全ての講義を受講された方には、次年度1回に限り、修了考査受験料を支払うことにより、修了考査を受験することができます。

11月下旬になっても講習修了の通知等が届かない場合は、お手数ですが BELCA 事務局までお問い合わせください。

Ⅸ. 講習修了後の登録申請

講習を修了された方には、登録申請書類を送付します。登録された方のみが、資格者を名乗ることができます。なお、登録料は11,000円（消費税（10%）込）となります。

X. よくある質問と回答

- (Q) 受講形式を「会場受講」で申し込みを行ったが、都合が悪くなった場合は「WEB 受講」に変更することができますか。
- (A) 可能です。「会場受講」を申し込まれた方が、3日間の会場受講の際に、申し出により例えば2日目から急遽「WEB 受講」に変更することもできます。ただし、その場合は「WEB 受講」で申し込まれた方と同じ扱いとなり、既に会場受講した1日目の講義動画を含めて全て講義動画を視聴いただく必要があります。一方、「WEB 受講」から「会場受講」への変更を希望する場合は、原則可能ですが、会場の座席数に限りがあるため、必ずしも希望に添えない場合もありますのでご了承ください。
- (Q) 試験会場を「大阪会場」で申し込みを行ったが、「東京会場の講義動画」を視聴することができますか。
- (A) できません。お申込みいただいた試験会場の講義動画を視聴いただく必要があります。
- (Q) 講習テキストを追加で購入することができますか。
- (A) できません。発行部数に限りがあるため、お申込みいただいた受講者1名に対して1冊のみとさせていただきます。破損・紛失等があった場合でも再発行は行いませんので、テキスト受取後は各自で大切に保管してください。
- (Q) 講習直前になっても受講票や講義動画リンクが届かない場合は、どうしたらいいですか。
- (A) 以下の BELCA ホームページの URL
または右の二次元コードから
BELCA 資格推進部まで至急ご連絡ください。

URL : <http://www.belca.or.jp/>



《お問い合わせ先》

公益社団法人 ロングライフビル推進協会（BELCA） 資格推進部
〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-13 芝エクセレントビル 4階

※本講習案内はBELCAのホームページからダウンロードできます。